

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500085
事業所名	グループホームかなれ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入している。 地域行事は回覧板で収集、地域のコミュニティセンターでの「折り紙」「お茶会」などへ参加し交流を深めている。 中学生の福祉体験学習を受け入れている。 大正琴、踊りなどのボランティアが訪れ、利用者などと交流を深めている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	自治会長、民生委員、家族、連携病院相談員、いきいき支援センター等の参加により、現況報告、行事報告行事の反省など多岐にわたり、報告、相談提言など得ている。 認知症や、高齢者にかかわるテーマでの勉強会など、工夫している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営での疑問点相談など随時、区や市と連携相談をして運営、ケアの向上につなげている。 いきいき支援センターとは、運営推進会議議事録や、空櫃情報などをFAXなどで送信したり、日常の交流がある。 事業者講習会、区での研修に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	定時のケアプラン更新時にアンケートを取ったり、意見要望の収集に努めケアに生かしている。 毎月「お便り」の中に利用者個別の写真とコメントを付けたものを郵送し、情報共有を図っている。 家族へは、適時電話連絡などして、情報共有、意見要望の収集などしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	×	×	×	×	○	○	○		